

## 米国カリフォルニア州ロングビーチ港税関で真贋判定セミナーを実施

2017年2月13日  
JETRONY 知財部  
今村、丸岡

ジェットロNY事務所は、経済産業省模倣品対策室、及び当地進出日系企業と協力し、世界有数の取扱量を誇るカリフォルニア州ロングビーチ港の税関職員に向け、模倣品と真正品の見分け方に関するセミナー(真贋判定セミナー)を開催した。

当セミナーは、以下三つの手順に分けて実施した。

### ① 確実な事前資料作成

税関職員が現場で使いやすい資料を参加企業が準備できるように、参加企業に対し、ジェトロが委託した模倣品対策専門弁護士による資料添削や、プレゼン方法についてアドバイスを実施。

### ② 直前講習

参加企業向けに、模倣品対策の実績がある大企業や弁護士による税関対応や本番の流れに関する直前講習を実施。

### ③ 税関職員向け真贋判定セミナー本番

ロングビーチ税関から35名強の職員が参加し、各企業30分の持ち時間の中、自社の製品についてプレゼンを行った。

参加者からは、通常、自力ではアポイントメントが入らない税関職員と直接会うことができた事、事前の手厚いサポートに関する謝意が述べられた。

また、次回は中南米の中継港にもなっているフロリダ州マイアミ港で同セミナーを実施してほしい旨の要望が寄せられた。

一方でロングビーチ港税関からは、他の団体(IACC:international anti counterfeit coalition など)が主催する同様のイベントでは、参加者企業が多く一社5分程度しか時間が取れない中、ジェトロの真贋判定セミナーでは適切な時間があり理解が深まった事。税関内にあるラボを使った科学的な真贋判定の利用を薦める、などのコメントがあった。

以上

<参考資料>

○直前セミナーでは時間を延長して活発な質疑応答が展開された。



○真贋判定セミナー本番では、税関からは実際に現場に立つ制服組とその上司である背広組含め、35人以上が参加した。



○真贋判定セミナー終了後も、その場を利用し税関職員と個別に意見交換が行われた。

